

横浜市立あかね台中学校における

旭化成建材（株）による杭工事の状況及び安全確認の 説明会について

◆ 日時

平成27年11月1日（日）午前10：00～

◆ 場所

あかね台中学校 体育館

◆ 次第

- 1 開会の挨拶
- 2 関係者の紹介
- 3 説明
あかね台中学校における杭工事の施工状況等について
- 4 質疑
- 5 閉会

◆ 添付資料

- ・あかね台中学校における杭工事の施工状況等について
- ・公共施設における旭化成建材(株)による杭工事に関する説明会の開催について（記者発表資料）
- ・横浜市あかね台中学校における旭化成建材(株)による杭工事の状況及び安全確認の説明会について

参考資料1

参考資料2

教育委員会事務局施設部教育施設課 電話：671-3298

建築局公共建築部施設整備課 電話：671-2968

建築局公共建築部営繕企画課 電話：671-2910

平成 27 年 10 月 30 日
教育委員会事務局教育施設課
建築局営繕企画課

公共施設における旭化成建材(株)による 杭工事に関する説明会の開催について

本市が発注した工事のうち、旭化成建材(株)が施工した杭工事について調査をした結果、都筑区のマンションと同様の既製コンクリート杭を使った施設は、青葉区のあかね台中学校であることが確認されました。

これまで、保護者、地域の皆さまに、杭工事の施工状況や安全性の確認状況等を説明するための説明会の開催について調整を行ってきました。本日、保護者、地域の皆さまに向けて、説明会の開催を通知しました。

(保護者、地域の皆さまあての案内文については、別紙をご参照ください)

説明会の概要

- 1 日 時：平成 27 年 11 月 1 日（日） 10:00～
- 2 場 所：あかね台中学校体育館
- 3 説明者：横浜市教育委員会事務局、建築局
- 4 内 容：「あかね台中学校における旭化成建材(株)による杭工事について」

※なお、説明会については非公開とさせていただきます。

お問合せ先

教育委員会事務局教育施設課長 中澤 誠治 Tel 045-671-3230

建築局営繕企画課長 鵜澤 聡明 Tel 045-671-2910

平成 27 年 10 月 30 日

保護者の皆様

横浜市立あかね台中学校における

旭化成建材（株）による杭工事の状況及び安全確認の説明会について

日頃から横浜市の教育行政にご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

本市が発注した工事で、旭化成建材（株）が施工した杭のうち、都筑区のマンションと同様の既製コンクリート杭を使った施設は、あかね台中学校であることが確認されました。

この報告を受け、横浜市としてこの間、元請建設業者、工事監理者と協力して、施工記録の調査を行い、すべての杭が支持層に達していることと、そのデータ（電流計記録）に間違いがないことが確認できました。また、現地の状況は、元請建設業者や工事監理者とともに、建物の傾きやひび割れなどの不具合が発生していないことを確認済みです。

一方で、根固め液（セメントミルク）注入量の施工データについては、総量は十分であるものの、杭ごとの注入量の記録の一部に流用等のある旨が判明しました。

詳しい内容については、まず、保護者、地域等の皆様へお知らせする必要があるため、現時点では施設名の公表はしておりません。

つきましては、下記のとおり説明会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

1 日 時 : 平成 27 年 11 月 1 日 (日)

開始時間 午前 10 時 ~

2 場 所 : あかね台中学校体育館

3 説明者 : 横浜市教育委員会事務局、建築局 他

4 内 容 :

(1) 「あかね台中学校における旭化成建材（株）による杭工事について」

(2) 質疑応答

5 別添資料 横浜市記者発表資料 平成27年10月29日 建築局営繕企画課

担当 : 教育委員会事務局施設部教育施設課 電話 : 6 7 1 - 3 2 9 8

公共施設における旭化成建材(株)による杭工事の状況について（中間報告2）

都筑区のマンションと同様の杭を使用した1施設に

データ流用等が確認されました

1 新たに確認された状況

都筑区のマンションと同様の既製コンクリート杭を使用した1施設について、元請建設業者と杭施工データを確認した結果、15本の杭の先端部分に注入した根固め液（セメントミルク）データに、流用等のあることが判明しました。

2 データ流用等の判明の主な経緯

10月27日(火)午前 ◇ 元請建設業者から、3040施設の調査対象である旨報告あり

午後 ◇ 建築局、工事監理者、元請建設業者で現地調査

◇ 建築局から記者発表（中間報告1）

10月29日(木)午前 ◇ 元請建設業者から、根固め液（セメントミルク）注入量の記録の一部に流用がある旨の連絡あり

◇ 元請建設業者と工事監理者及び建築局で、データ流用等の確認を行う

3 安全性の確認

建築局において施工記録の調査を行い、すべての杭が支持層に達していることと、そのデータ（電流計記録）に流用等が無いことが確認できました。また、現地の状況は、元請建設業者や工事監理者とともに、建物の傾きやひび割れなどの不具合が発生していないことを確認済みです。

4 今後の対応

横浜市は、元請建設業者とともに速やかにデータ流用等に至った原因究明を図り、早急に安全性の確認を取り、必要に応じて安全対策を講じていきます。

また、新たに、元請建設業者から、都筑区のマンションと同様の杭を、旭化成建材が施工した物件が判明した旨の連絡があった場合には、速やかに調査を行い、安全性の確認を行います。

※ 今回のデータ流用等は、全国 3,040 施設（県内 192 施設）の内数で、都筑区のマンションでデータ流用等を行った担当者が施工した 41 施設以外の施設です。

〈参考〉過去5年間で旭化成建材(株)により杭工事が行われた工事の状況

旭化成建材(株)による杭工事が確認された施設	33 施設
都筑区マンションと同様の既製コンクリート杭を使用したもの	1 施設（該当杭本数：210 本）
上記以外	32 施設

お問合せ先

建築局営繕企画課長 鵜澤 聡明 Tel 045-671-2910

あかね台中学校における杭工事の施工状況等について

平成 27 年 11 月 1 日 横浜市建築局

都筑区のマンションでの杭工事施工データの流用等の発覚に伴い、本市の公共施設でも同様な問題があるか調査を進めてきました。

その中で、あかね台中学校の新築工事でも旭化成建材（株）が、同様の既製コンクリート杭を施工し、その施工データの一部に流用等があることが判明しました。

このことに関して、実際の杭工事の施工状況について、詳細に調査した結果、以下のとおり、安全性に問題が無いことを確認できましたのでご報告いたします。

この間、生徒、保護者の皆様に多大なご心配をおかけしましたことを深くお詫びします。

1 これまでの経緯

- | | |
|-----------|--------------------------------------|
| 10月14日(水) | 都筑区マンションでの杭工事データの流用等の新聞報道 |
| 10月16日(金) | 本市公共施設での施工実績の調査を開始 |
| 10月22日(木) | 旭化成建材が過去10年間で同様の杭を国内の3,040施設で施工したと公表 |
| 10月27日(火) | 3,040施設の調査対象にあかね台中学校が含まれていることを確認 |
| 10月29日(木) | 根固め液（セメントミルク）注入量のデータの一部に流用があることを確認 |

2 工事の概要 → 別紙

3 今回の問題点

根固め液（セメントミルク）注入量のデータについて、一部に流用等が判明しました。このため、データ流用された杭への根固め液（セメントミルク）が適切に注入されたかが問題になっています。

なお、杭が支持層に達していること、そのデータに流用等がないことについては確認できました。

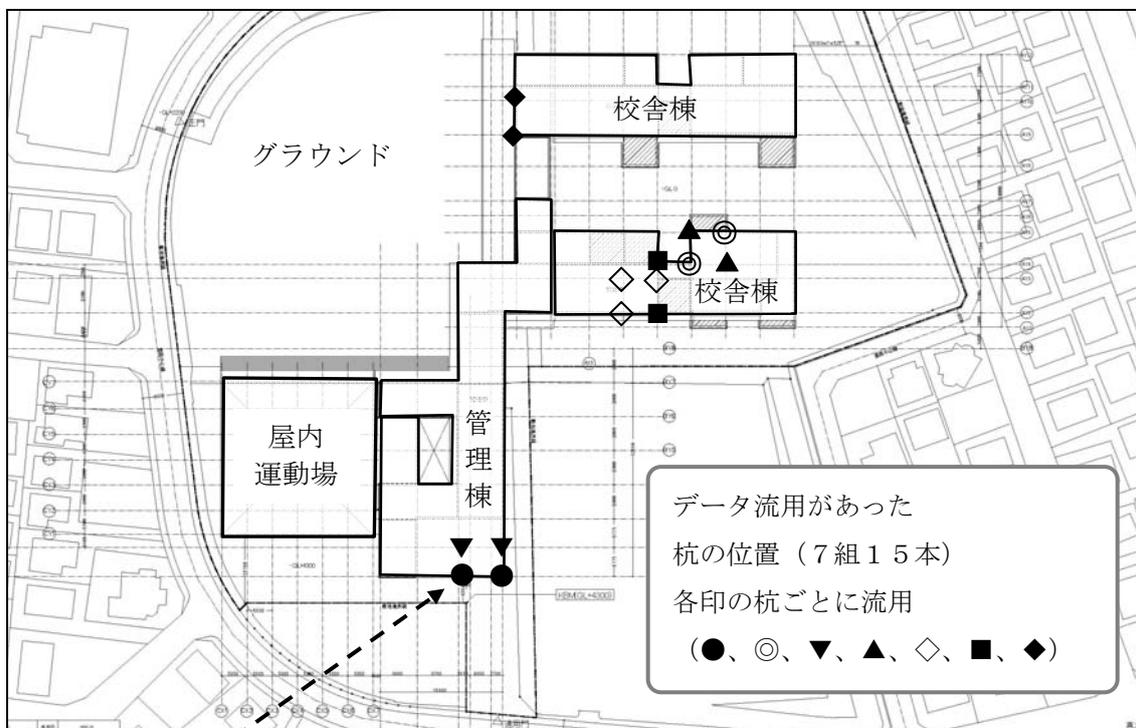
4 調査概要

(1) 支持層に達しているかの調査

- ・ 工事監理者が 210 本すべての杭について、毎日データをチェックしており、その記録により、すべての杭が支持層に到達していることを改めて確認した。
- ・ 210本の掘削時の電流値のデータをすべて比較し、データの流用等がないことを確認した。

以上のことから、すべての杭が堅固な地盤である「支持層」に達していることと、掘削時の電流値のデータに流用等が無いことを確認しました。

(2) 根固め液（セメントミルク）の注入に関する調査



- ・ 210 本すべての杭の施工に元請建設業者が必ず立ち会い、記録写真として残していた。その記録写真を報告書により確認した。
- ・ 根固め液（セメントミルク）の材料であるセメントが、必要量納品されていたことを、元請建設業者と杭工事施工業者からの資料により確認した。また、納入されたセメントが適切に使用されていたことを、立ち会った元請建設業者に確認した。

以上のことから、すべての杭において、必要な量の根固め液（セメントミルク）が注入されていることを確認しました。

(3) 現地調査

工事監理者及び元請建設業者とともに、建物の傾きやひび割れなどの不具合がないことを目視及び測定機器により確認しました。

5 本市としての判断

- ① すべての杭が堅固な地盤である「支持層」に達していることと、掘削時の電流値のデータに流用等が無いこと
- ② すべての杭において、必要な量の根固め液（セメントミルク）が注入されていること

以上から、建物及び杭の安全性には、問題がないと判断しています。

6 今後の対応

今回の施工データの流用等の原因究明に、引き続きしっかりと取り組んでいきます。また、今後も建物の状況等に関する定期点検・調査を行いながら、適切な維持管理を図っていきます。

あかね台中学校の杭工事について

1 建物概要

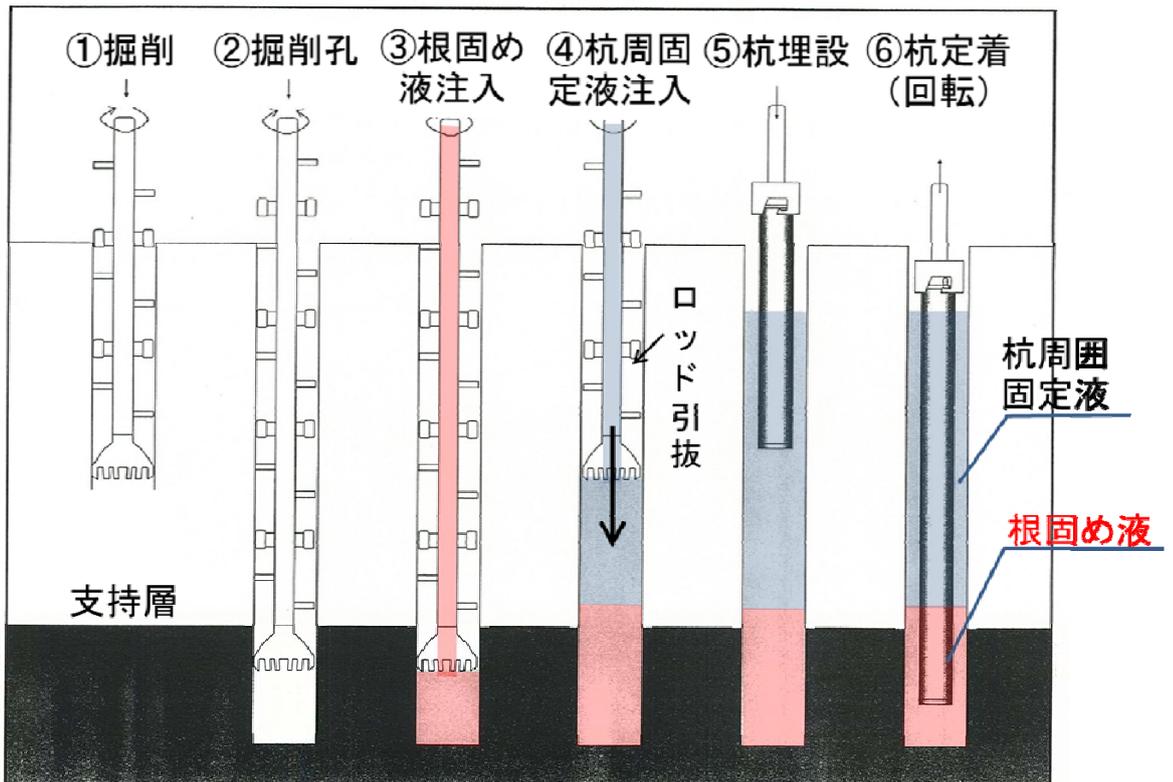
工事件名	あかね台中学校新築工事
所在地	青葉区あかね台二丁目8番地の2
工事期間	H21.9.25～H22.12.24 (設備工事等を除く)
建物規模	3階建て (RC造、一部S造)
建築面積	6,283.73 m ² 延床面積 10,632.72 m ²

2 施工概要

施工業者	元請建設業者 小俣・六国・日成JV
杭工事	一次下請け (株)角藤 二次下請け 旭化成建材(株) 三次下請け (株)アイワ, (株)巴工業
工事監理	横浜市建築局 (株)みかんぐみ (江尻建築構造事務所)

3 杭工事の概要

施工期間	H21.12.19～H22.1.29
杭の種類	プレボーリング拡大根固め工法 (HiFB (ハイエフビー) 工法)
杭の本数	210本 (杭径 400mm×28本、500mm×21本、600mm×56本、700mm×88本、800mm×17本)
杭の長さ	17m～26m
施工手順	



あかね台中学校における杭工事 の施工状況等について

2015年11月1日(日)
横浜市 建築局

これまでの経緯

- 10月14日(水) 都筑区マンションでの杭工事データの流用等の新聞報道
- 10月16日(金) 本市公共施設での施工実績の調査を開始
- 10月22日(木) 旭化成建材が過去10年間で同様の杭を国内の3,040施設で施工したと公表
- 10月27日(火) 3,040施設の調査対象にあかね台中学校が含まれていることを確認
- 10月29日(木) 根固め液(セメントミルク)注入量のデータの一部に流用があることを確認

建物概要

工事件名	あかね台中学校新築工事		
所在地	青葉区あかね台二丁目8番地の2		
工事期間	H21.9.25～H22.12.24 (設備工事等を除く)		
建物規模	3階建て(RC造、一部S造)		
建築面積	6,283.73m ²	延床面積	10,632.72m ²

施工概要

施工業者	元請建設業者 小俣・六国・日成JV 杭工事 一次下請け (株)角藤 <u>二次下請け 旭化成建材(株)</u> 三次下請け (株)アイワ, (株)巴工業
工事監理	横浜市建築局 (株)みかんぐみ (江尻建築構造事務所)

杭工事の概要

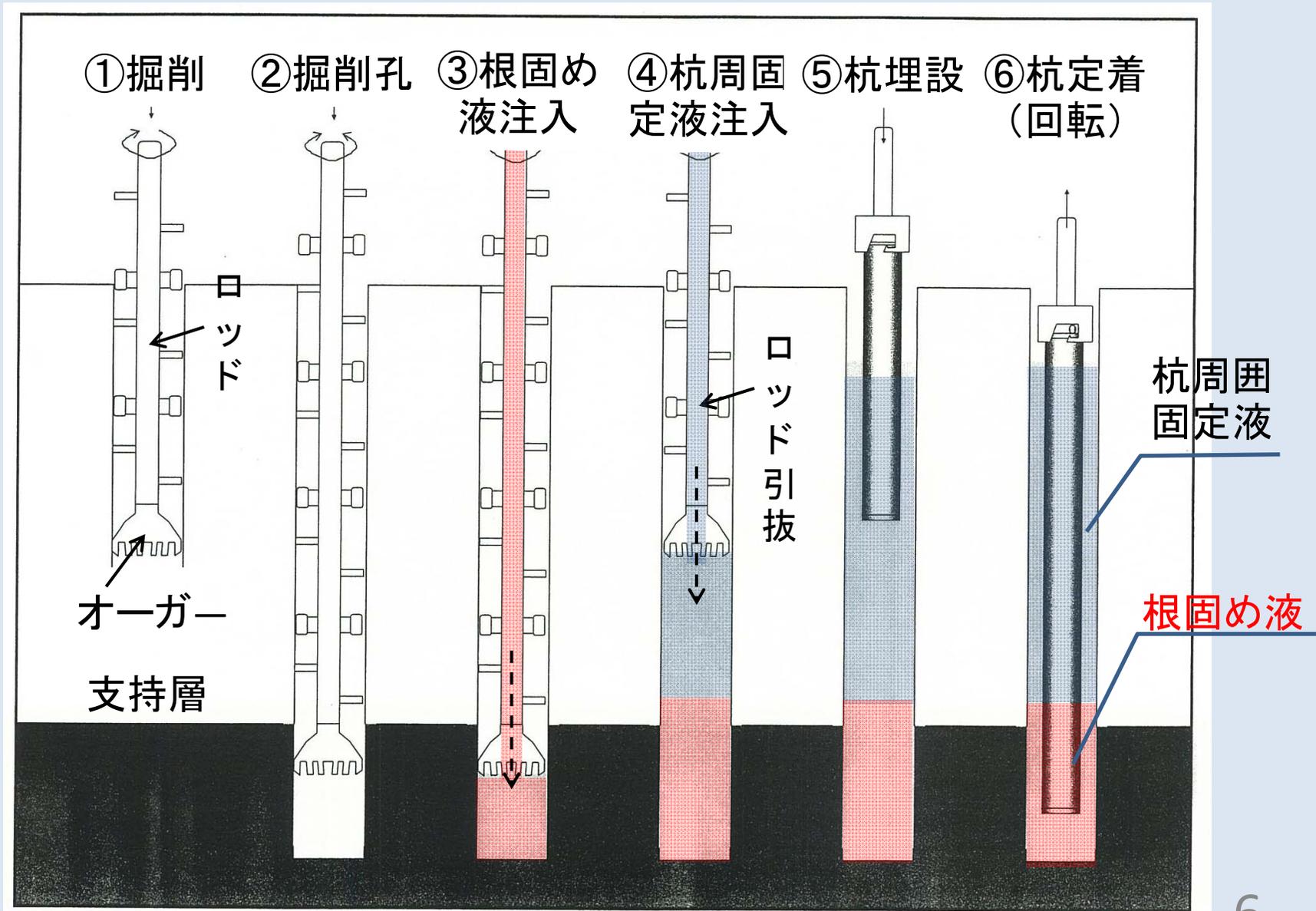
施工期間 H21.12.19～H22.1.29

杭の種類 プレボーリング拡大根固め工法
(HiFB(ハイエフビー)工法)

杭の本数 210本
(杭径400mm×28本、500mm×21本、
600mm×56本、700mm×88本
800mm×17本)

杭の長さ 17m～26m

杭工事の概要 施工手順



杭工事施工管理の流れ

(3) 掘削機の確認 (鉛直・傾斜を確認)



(4) 削孔位置の確認 (杭芯セット)



杭工事施工管理の流れ

(5) 掘削

(電流計の波形や
音や振動の変化で支持層確認)



(6) 掘削完了(掘削長確認)



杭工事施工管理の流れ

(7)セメントミルクの配合比確認 (8) 根固め液→杭周固定液の注入
(流量計を見て注入量の管理)



杭工事施工管理の流れ

(9) 杭の建込及びジョイント



(10) 杭天端確認 (レベル管理)



今回の問題点

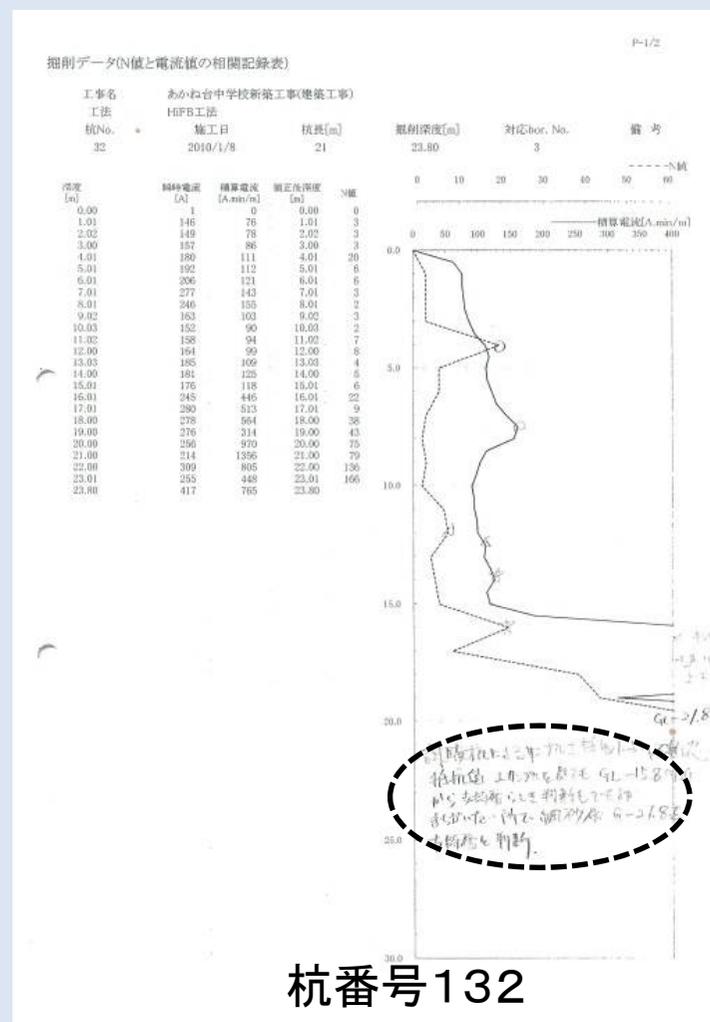
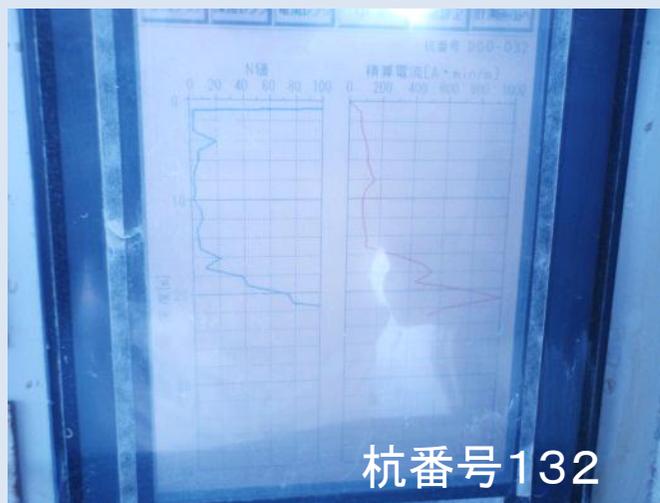
根固め液(セメントミルク)注入量のデータについて、一部に流用等が判明

このため、データ流用された杭への根固め液(セメントミルク)が適切に注入されたかが問題

なお、杭が支持層に達していること、そのデータに流用等がないことについては確認

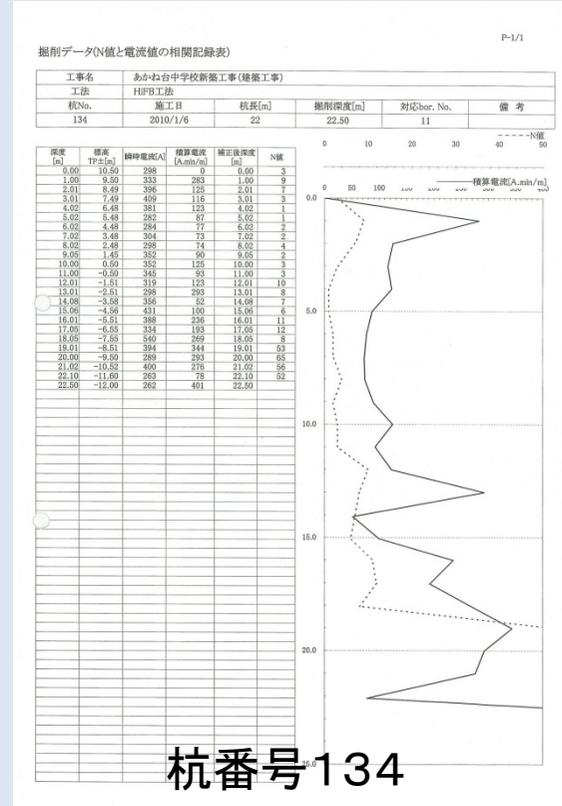
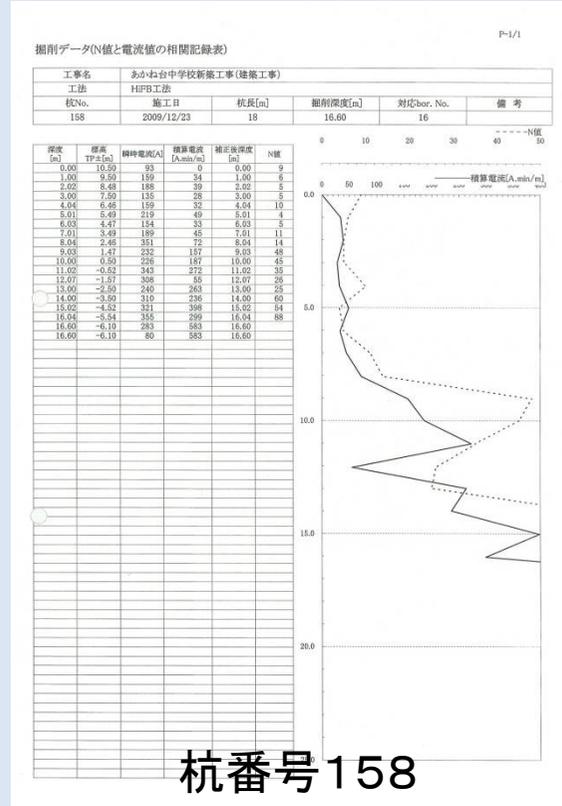
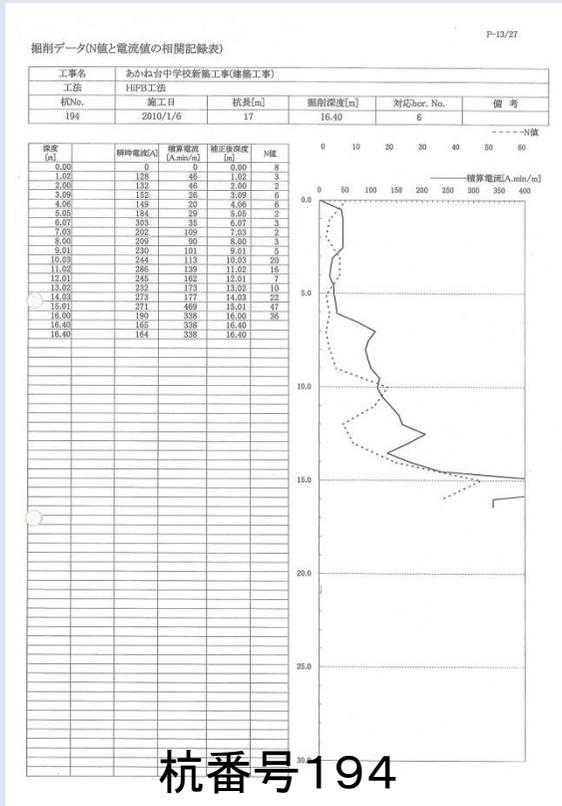
支持層に達しているかの調査

- ・工事監理者が210本すべての杭について、毎日データをチェックしており、その記録により、すべての杭が支持層に到達していることを改めて確認した。



支持層に達しているかの調査

・210本の掘削時の電流値のデータをすべて比較し、データの流用等がないことを確認しました。



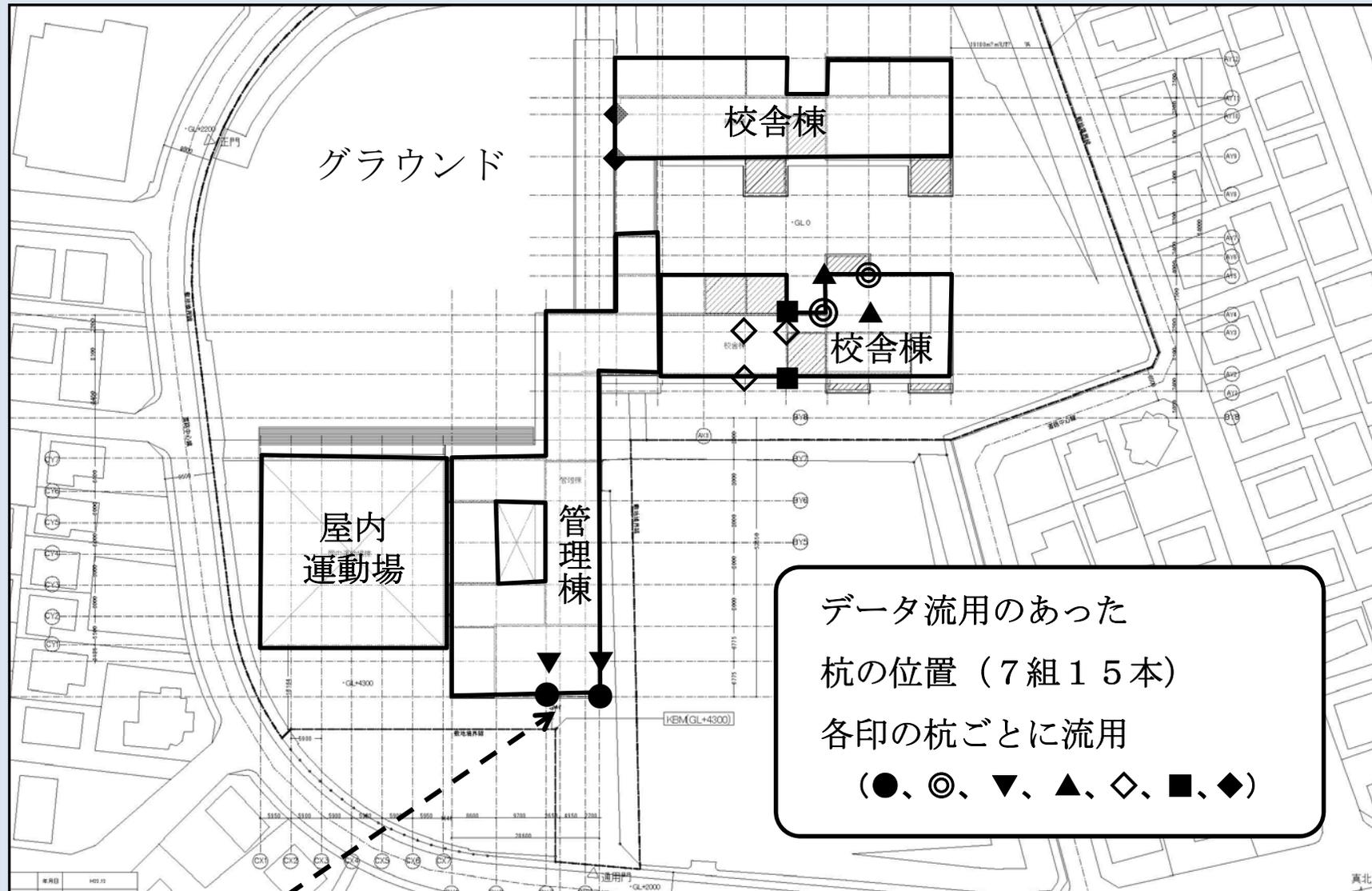
支持層に達しているかの調査

以上のことから、

すべての杭が堅固な地盤である「支持層」に達していること

掘削時の電流値のデータに流用等が無いことを確認しました。

根固め液データ記録が流用された杭の位置



※ 当日配布資料で、●と▼の位置が入れ違っている部分がありましたので、修正しています。

根固め液(セメントミルク)の注入に関する調査

- ・210本すべての杭の施工に元請建設業者が必ず立ち会い、記録写真として残していた。その記録写真を報告書により確認した。



根固め液(セメントミルク)の注入に関する調査

・根固め液(セメントミルク)の材料であるセメントが、必要量納品されていたことを、元請建設業者と杭工事施工業者からの資料により確認した。

また、納入されたセメントが適切に使用されていたことを、立ち会った元請建設業者に確認した。



根固め液(セメントミルク)の注入に関する調査

以上のことから、

すべての杭において、必要な量の根固め液(セメントミルク)が注入されていることを確認しました。

現地調査

工事監理者及び元請建設業者とともに、建物の傾きやひび割れなどの不具合がないことを目視及び測定機器により確認しました。



本市としての判断

- ① すべての杭が堅固な地盤である「支持層」に達していることと、掘削時の電流値のデータに流用等が無いこと
- ② すべての杭において、必要な量の根固め液(セメントミルク)が注入されていること

以上から、建物及び杭の安全性には、問題がないと判断しています。

今後の対応

今回の施工データの流用等の原因究明に、引き続きしっかりと取り組んでいきます。

また、今後も建物の状況等に関する定期点検・調査も行いながら、適切な維持管理を図っていきます。